

■新校舎施設概要

所在地	岩国市三笠町二丁目1番9号
構造	地上3階、鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造
防音種別	2級防音
最高高さ	15.61m
軒高	15.01m
敷地面積	18,308.63㎡（南側敷地） 16,649.03㎡（北側敷地）
建築面積	6,165.82㎡（渡り廊下、倉庫棟含む）
延床面積	14,186.96㎡（渡り廊下、倉庫棟含む）
設計	石本・菊重設計共同企業体
監理	株式会社石本建築事務所
施工	カシワバラコーポレーション・白田建設特定建設工事共同企業体 サンテック・フジテクノ特定建設工事共同企業体

財源	高砂熱学工業・大嶋商会特定建設工事共同企業体 文部科学省 公立学校施設整備費国庫負担金 学校施設環境改善交付金 防衛省 防衛施設周辺防音事業補助金 厚生労働省 子ども・子育て支援整備交付金 山口県 放課後児童クラブ整備事業費補助金 市費 合併特例債、一般財源
----	---



■配 置

『分離された敷地を活用し、教育の充実、地域とのつながりを重視した配置』

- ・南側敷地に校舎とアリーナを、北側敷地にグラウンドやプール等を配置することで、明確なゾーニングを行い、南北の敷地は連絡橋でつなぎ、子どもたちが安全で使いやすい学校としています。
- ・地域の学習・集会施設、放課後児童教室を一階に配置し、小中学校との出入り口を分けることで地域の方も利用しやすい明確なゾーニングを行っています。

■平 面

『地域と共に支え合う学校』

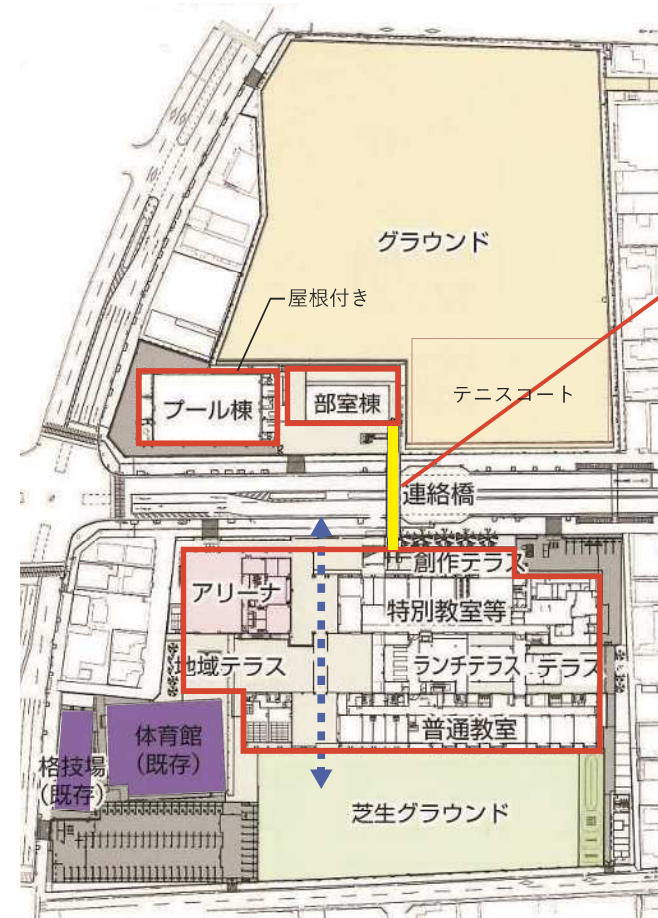
- ・地域開放ゾーンに隣接して放課後児童教室を配置するなど、地域の目で児童を見守ることのできる構成としています。

『変化に柔軟に対応できる学校』

- ・センターゾーン（図書室・多目的室等）を中央に挟んで北側に特別教室ゾーン、南側に普通教室ゾーンを配置することで、分かりやすい回遊動線としています。

『子どもたちの9年間の成長に合わせた教育環境の充実』

『多様な交流が促進される空間づくり』



連絡通路でグラウンドへアクセス。



地域テラスから低学年昇降口を見る

■敷地利用

道路を挟んで2敷地を活用。2F部分の連絡通路で校舎からグラウンドへアクセス。校舎南側の芝生グラウンドは小学校グラウンド。既存の中学体育館、格技場は残したまま新校舎を整備。職員駐車場と来客駐車場は車の出入口が異なる。放課後児童クラブも同一建物として一体整備

■地域利用

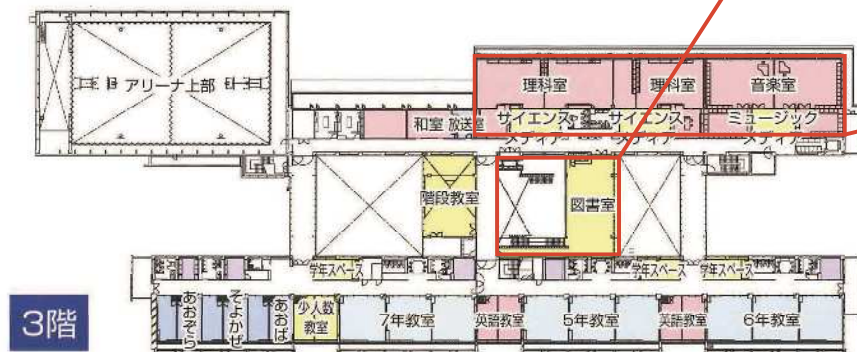
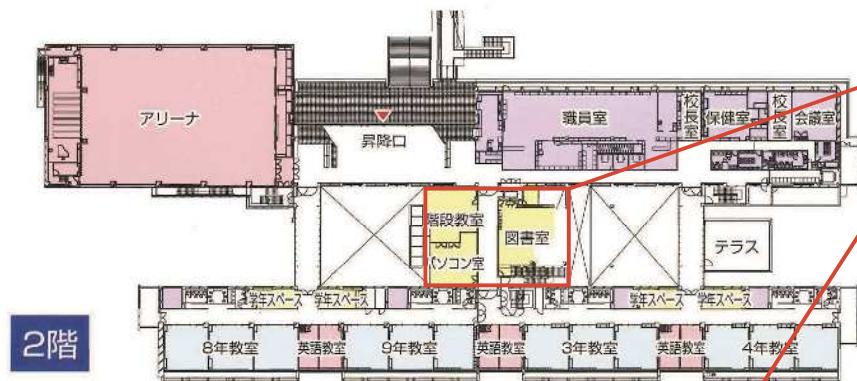
PTAや地域の方々の活動のベースとなる場所が整備されている。

■昇降口（通学）

2箇所に分散配置。

岩国市立東小中学校 視察報告

■校舎平面図



凡例	教室	地域交流	管理	特別支援教室
	放課後児童教室	特別教室	共用	建物出入口

教室回り



教室と廊下が一体的に学びの場となる設え
図書コーナーなど低学年用の小スペースが整備されている。

図書室、階段教室



学校の中心に図書室や階段教室を配置されている。
1Fの多目的室を含め、学年集会やグループ学習に対応した広いスペースが多く整備

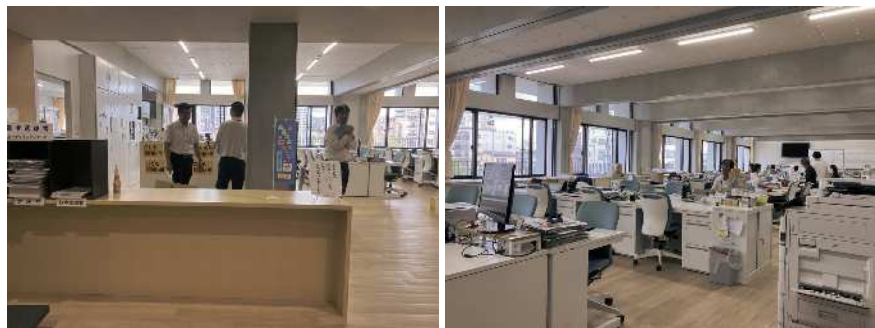
特別教室回り



特別教室で作った作品などの展示スペースの設置
オープンスペースをつくることで、教室でも科目に触れ合える工夫

岩国市立東小中学校 視察報告

職員室回り



カウンターが設置され、児童・生徒とのコミュニケーションスペースが整備
職員室に加え、印刷作業室、会議室、更衣室などの室を整備

各所のトイレ



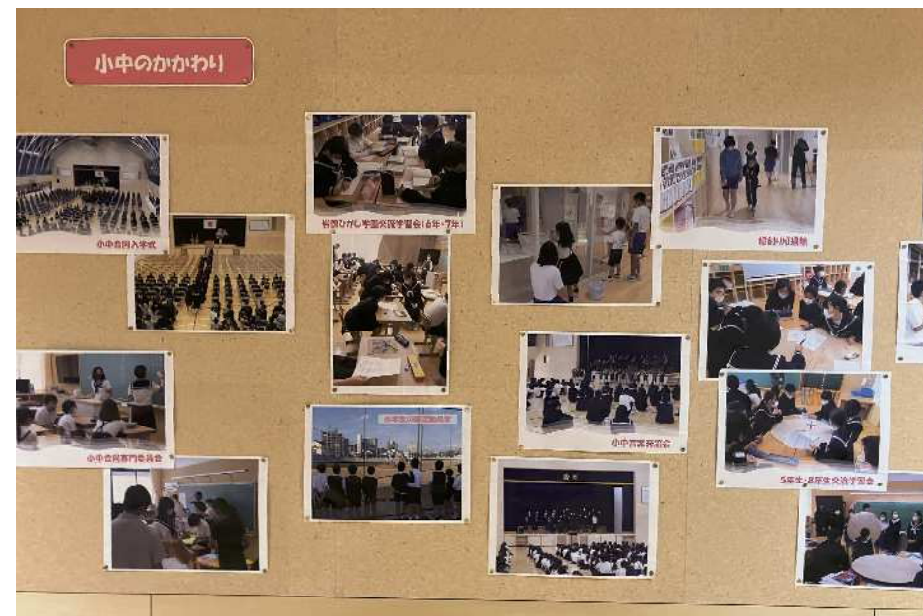
各学年のトイレのデザインが場所場所で異なっていた。
楽しい雰囲気で整備されていた

地域との接点



PTA 関係諸室が2室、会議室が整備。エントランス空間がギャラリー兼用
会議室の運営は学校側が管理されているようでした。

小中のかかわり、イベント



地域とのかかわり、イベント

